

JFサポーターズクラブ

「ジャパンファウンデーションの活動をもっと身近に感じていただきたい。できればひとりひとりの方々に国際交流の担い手として参加いただきたい！」との想いをこめて2004年10月、新たに「JFサポーターズクラブ」がスタートしました(旧「友の会」と旧「賛助会 個人会員」の両会員制度を継承)。

パートナー、アソシエイト、フレンドの3コースを設け、ジャパンファウンデーションのイベント案内、会員だけが閲覧可能なWEBサイトの利用、有料イベントの割引料金適用や各種事業へのご招待、国際交流専門誌『遠近(をちこち)』の送付など、多彩な特典を提供しています(コースによって特典内容が異なります)。

2005年3月末時点で、パートナー228名、アソシエイト347名、フレンド374名の方に入会いただいております。

会員限定のサイトや特典

限定コンテンツもご用意した JFサポーターズクラブ会員サイト。

JFサポーターズクラブ会員サイトには、会員の方だけにアクセスいただける以下の各コーナーを設けました。

- ・ イベントカレンダー：ジャパンファウンデーションの主催事業を中心に、内外の国際交流イベント情報をお届けしています。
- ・ フロントランナー：さまざまな分野の方々からの国際交流に関する寄稿や、ジャパンファウンデーションのスタッフによる事業レポート/国際文化交流への想いを綴ったエッセイ等を掲載しています。
- ・ 国際交流トピック：海外事務所からの現地情報をはじめとする最新のトピックを集めています。

- ・ 国際交流基金出版物：ジャパンファウンデーションの各種有料出版物をPDFでご覧いただけます。
- ・ ゲストブック：JFサポーターズクラブ会員専用の掲示板です。国際交流についてのお考えを自由に交換できるみなさまの広場です。

メールマガジンで タイムリーな情報提供。

3月末までに13号のメールマガジンを配信し、事業情報を中心とした国際交流情報をタイムリーに提供しました。

イベントの会員割引やご招待など 会員特典の提供。

ジャパンファウンデーションが開催するさまざまな映画祭、展覧会、演劇、コンサートを会員価格でお楽しみいただきました。また、会員割引に加え、パートナー会員の方々を数々のイベントにご招待しました。



JFサポーターズクラブ会員サイト

JFサポーターズクラブ ボランティア派遣

「コリア・ジャパン・ロードクラブ フェスティバル」に派遣。

ソウルでもっともホットなエリア、ホンデ地区一帯で開催された音楽とアートのオールナイトイベント「コリア・ジャパン・ロードクラブフェスティバル」。ジャパンファウンデーション初のヒップホップ/DJアーティストをフィーチャーした大イベントに、JFサポーターズクラブ会員の中から選ばれた4名の方がボランティア特派員として参加しました。

ボランティア特派員のみなさんは、ホンデ地区のクラブや特設イベント・テントを縦横無尽に駆け巡り、臨場感あふれるライブレポートをインターネット配信しました。また同時に、現地からのリアルタイム・レポートを読んだ日本国内の方からはBBSを通じてコメントをいただきました。

特派員レポート

「イベント前半戦開始！」

ついに始まった！ロードクラブフェスティバル。ここホンデ地区ならではのファッショナブルな衣装に身を包んだ若者たちが、道行くおじさんおばさんを圧倒している。この図が結構面白い。ショーの前半戦、まだ人はまばらだが、ビートに乗って踊り、音を楽しんでいる様子が伝わってくる。ライブゾーンは、チュコクという韓国有名ラッパーの突然の(よくある?)キャンセルもなんのその、代わりのラッパーが大いに盛り上げ、笑いあり、涙あり(?)の舞台を見せてくれた。お客さんも舞台と一緒にノリノリだ。(松島 彩)



©Haruo Matsuya

特派員レポート

「ここはほんとにソウルなの??」

Q-voというクラブはすごい行列！やっとのことで会場に入るとDJ.KENTAROの素晴らしいプレイ！オーディエンスもノリノリ！そしてでたKENTAROのお家芸のプレイ、「さくらさくら」！これを聞いてフロアを眺めていると、ここはソウルのクラブ??と思うほど。韓国のオーディエンスも割れんばかりの拍手と大歓声！さすがのケンタローもこの拍手と歓声には大きなリアクションで敬意を表していた。「けんたろー！」という男性の叫び声が印象的！クラブを後にするときも、入り口はいまだに長蛇の列！(河村 一政)



©Haruo Matsuya